

< 農業生産法人、集落営農組織の育成を実施している事例 >

営農集団設立で受委託態勢の確立を目指す

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	秋田県雄勝郡羽後町 中田沢			
協定面積 21.0ha	田(100%) 米、そば、野菜	畑	草地	採草放牧地
交付金額 168万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	集落担当者活動経費		4%
		集落マスタープランの将来像を実現するための活動経費		5%
		鳥獣害防止対策、水路農道等維持・管理等共同取組経費		12%
		農用地の維持・管理活動を行う者に対する経費		18%
		積立金		10%
		予備費		1%
協定参加者	農業者 20人			

2. 取組に至る経緯

当集落の農地は南北に細長く、かつ複数の沢部で構成されている。比較的まとまった農地ではあるが、沢部など入り組んだ箇所については棚田であり傾斜も急である。

発足時に半数近くが65歳以上の農家で高齢化の進行は深刻なものであり、農地の荒廃も懸念された。このため、集落内全戸で協定を組織し、将来に渡り持続的な農業生産活動を実施していくこととした。

3. 取組の内容

集落の農業生産活動をより効率的かつ活発化していくために集落営農組織を設立することとし、集落内の8名(うち認定農業者2名)により平成19年5月に中田沢集落営農集団組合を設立した。これにより、水稻6.5haで耕起・代掻き・刈取の作業を受託する態勢を確立した。

また、より効率的・積極的に活動を推進していくため、隣接の上田沢集落協定と将来的に合併を目指すこととしている。



中田沢集落営農集団組合設立総会



農作業委託による刈取りを実施

[集落の将来像]

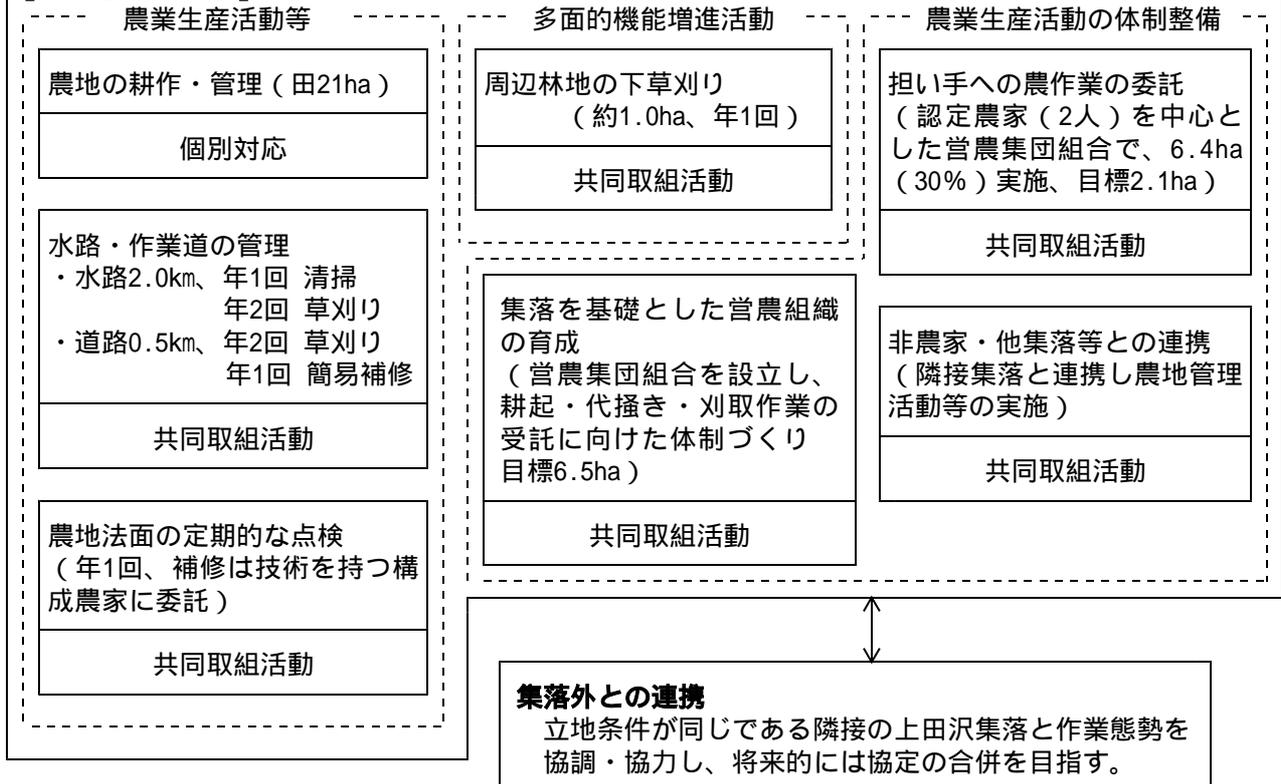
農業の持続発展に向けた集落営農組織を設立し、農作業受託を推進する。
また、都市農村交流や隣接集落協定との合併などを行い、集落の活性化を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

設立した集落営農組織を中心とした農作業受委託面積の拡大
伝統文化の継承など地域の活性化につながるイベントの開催
上田沢集落との合併に向けた検討

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

共同作業や話し合いなどを通じて、農業生産活動等に共通意識を、持つことが出来た。
制度をより活用し、作業の効率化等を推進していくため、今後、隣接の上田沢集落協定との合併を目指すことが大きな課題である。

[平成20年度までの主な成果]

- 担い手への農作業の委託による作業の効率化 (当初 0 ha、目標2.1ha、H20実績6.4ha)
- 畦畔、道路、土手等の管理の徹底 (当初各自管理、H20年度は一斉共同管理日を4回設定)
- 上田沢集落協定との合併に向けた動き (H20年度は、上田沢との意見交換を実施)